

地震保険研究 2

# 2002年災害研究フォーラム講演録

## 「巨大地震の災害シナリオ」

東海・東南海・南海地震      そのとき何が起こるか

平成15年 3 月  
損害保険料率算出機構

## はじめに

海溝型巨大地震である東海・東南海・南海地震は、過去周期的に発生している、21世紀に発生が危惧されており、近畿圏、中部圏などにおいて各種防災対策を今後早急に確立することが必要であると言われている。

そこで、当機構の災害科学研究会および地震災害予測研究会の共催により「巨大地震の災害シナリオ 東海・東南海・南海地震 そのとき何が起こるか」をテーマとして「2002年災害研究フォーラム」を開催した。本資料は、その記録をまとめたものである。

なお、本資料の文中にて、意の通らない点などがあれば、それは編集発行者の責任である。

# 目 次

## . 開会の挨拶

高 橋 裕	災害科学研究会委員長	1 頁
	東京大学名誉教授	

## . 基調講演 ..... 3

「東海・東南海・南海地震 科学的予測の後に来るべきもの」	
片 山 恒 雄	独立行政法人 防災科学技術研究所理事長
	東京大学名誉教授

### 【休 憩】

#### \* 参考資料「被害想定結果概要」の紹介

損害保険料率算出機構研究部

## . パネルディスカッション ..... 21

司 会	北 川 良 和	地震災害予測研究会 副委員長
		慶應義塾大学教授

パネリスト	都 司 嘉 宣	東京大学助教授
		「過去の東海、南海地震に学ぶ災害シナリオ」

	翠 川 三 郎	地震災害予測研究会委員
		東京工業大学教授
		「広域被害と脆弱地盤」

	目 黒 公 郎	東京大学助教授
		「効果的な防災対策を実現するために
		ハードとソフト、事前と事後」

	片 山 恒 雄	独立行政法人 防災科学技術研究所理事長
		東京大学名誉教授

. 閉会の挨拶	和 泉 正 哲	地震災害予測研究会委員長	69
		東北大学名誉教授	

---

### 〔付録〕 1. 2002年災害研究フォーラム要旨集

### 2. 〔参考資料〕東海・東南海・南海地震の被害想定結果概要